

0594

又海軍ノ棧橋カ目標トナリ附近建物ノ一部被害アリ要スルニ總体的ニ對空
ニ露出シ長大且特徴アルモノハ凡テ第一攻撃ノ目標トナリタルモノ、如シ
2. 以上ノ現象ハ都市爆撃ニ於テモ瞭カニ其ノ攻撃過程ヲ區分シ得ルモノナリ

九

終り

極秘

經戰訓第二十四號

本資料ハ球部隊野戰貨物廠
昭和十九年十一月ノ月報ニ依ル

昭和廿年五月廿七日
四

領土内(沖繩)ニ於ケル軍糧食自給要領ノ教訓

昭和二十年三月二十七日

野戰經理長官部

0595

65

庶務係長

次 目

- 第一、一般糧食品
- 第二、水 産
- 第三、家畜調達、飼育管理事項

領土内(沖繩)ニ於ケル軍糧食自給要領ノ教訓
第一 一般糧食品

一 主食代用甘藷

縣トノ協定ニヨリ十一月中ハ五町村農業會ヨリ九〇噸ヲ割當供出セシメタルモ爾後大暴風ノ被害ニ依リ漸次逼迫ノ兆アルヲ以テ軍行政部ヨリ近ク馬鈴薯ノ交付ヲ受ケ之ヲ種子トシテ短期ニ收穫シ緩和ヲ圖ル豫定ナリ

二 蘇鐵切干

イ、野生ノ蘇鐵幹ヨリ切干ヲ製造シ含有澱粉ヲ食用特ニ主食ニ代用ス
ロ、切干ノ供出割當年額ハ〇〇島二〇万貫、〇〇島一〇万貫、〇〇及〇〇島一〇万貫、〇〇及〇〇郡一〇万貫、計五〇万貫ニシテ之カ製粉ハ〇〇水カ製粉工場ヲ復活セシメ製粉機ヲ那覇ヨリ移動シテ利用ス。

三 獸肉

〇〇屠殺場ヨリ供出肉ヲ以テ軍直部隊ニ補給ス、本月中ノ平均一日補給量七

五 食用蝸牛及蛙

〇島ニ野生シアル食用蝸牛ヲ離島ニ移殖増殖ヲ圖リ又食用蛙ヲ〇〇郡ニ養殖シ蛋白質資源ノ短期増産ヲ企圖中ナリ

六 野菜

甘藷ト同一要領ニテ同一村農業會ヨリ供出セシメアルモ暴風ノ被害大ナリシ爲目下果菜類、根菜類及豆苗ヲ以テ補ヒアル現況ナリ其ノ收荷配給量ハ月高

一二〇噸ナリ

別ニ「トマト」及甘藍ノ栽培ヲ奨励シ「トマト」ハ明春一月ヨリ四月ニ亘リ約六〇万貫以上ヲ甘藍ハ六〇万貫以上ノ生産ヲ計畫中ナリ

七茶

ノ本縣唯一ノ〇〇製茶組合ニヨリ十二月ノ刈込ニ依ル番茶約三萬斤ノ製造ヲ計畫シ不足材料タル燃料、重油及石油ノ交付ヲ考慮中ナリ

2. 代用茶トシテ「ガデマル」樹、芳香木、「ユーナギ」樹ノ混合葉ヲ焙焦シテ取得スル如ク試作中ナリ

(註) 本品ハ多量生産可能ナルモ「ビタミン」Cノ在否不明ニシテ養價ヨリセバ尙研究ノ餘地ヲ存ス

八密柑「シロツブ」

〇〇郡主産ノ密柑(シーカーサ)約一、〇〇〇石ヲ蒐集セシメ〇〇製糖工場ヲ利用シテ約八〇〇石ク「ビタミン」C「シロツブ」ヲ製造シ全軍補給ヲ計

大味 噌

イ、〇〇郡地方等ニテ栽培シアル落花生ノ締油粕ヲ以テ代用味噌ノ製造ヲ企圖シ目下〇〇島、〇〇半島、〇〇島方面ノ落花生ノ状況ヲ調査中ナリ

ロ、那覇市ニ燒殘リタル諸味約一〇〇石ノ使用可能ナルヲ發見シ所有業者ヲシテ醤油ヲ製造セシメ一六〇石ヲ生産ノ見込ナリ

ハ、代用醤油 虫害甘藷(食用不能)ノ切干及乾燥海藻ヲ仕込、諸味ト爲シ之ニ食鹽及少量ノ黑糖ヲ加フル方法ニ依リ業者ヲシテ實施セシメアルモ尙臭ヒノ點不良ナルヲ以テ放香木等ヲ以テ抹消セシメタル所代用醤油トシテ支障ナク相當多量ヲ製造シ得ル見込ナリ

(註) 本醤油ハ蛋白質分ナク榮養上豆製品ニ劣ルハ止ムヲ得サルナリ

ロ、蘇鐵ノ切干ヲ主材トシテ代用味噌ノ取得ヲ企圖シ業者ヲシテ試造セシメ
 ツ、アルモ蛋白質分ヲ缺クノ缺點アルヲ以テ豆及落花生ノ混合製造ヲ考
 究中ナリ

ハ、那覇市焼跡ヨリ焼残り味噌ノ蒐集ニ努メ合計二、八三〇貫ヲ得タリ

十二「イースト」

黒糖、甘藷、廢糖密ヲ主原料トシテ酵母菌ヲ繁殖セシメ人造蛋白ノ生産ヲ企
 圖準備中ナリ

士、泡盛酒

那覇市ノ焼跡ニ生シタル燒砂糖ノ殘滓ヲ活用スル井上獸醫見習士官ノ發案指
 導ニヨリ首里市玉那覇泡盛醸造場ヲシテ研究醸造セシメタル所第一回ハ失敗
 ニ終リタルモ麴其ノ他ニ改良工夫ヲ重ネ更ニ本品ノ缺點タル臭味ノ脱却ニ苦
 心工夫ヲ加ヘタル結果概ネ完全ナル泡盛酒ノ抽出ニ成功セリ
 其ノ醸造豫定高合計 二〇〇石ナリ

イ、海藻類

業者ヲシテ藻宿、「ヒジキ」等ヲ蒐集セシメ佃煮ノ製造ヲ實施中ニシテ其ノ取

イ、爆撃ノ被害ニ依リ漁業用具ニ大ナル損耗アリシ爲魚獲ハ目下各沿岸部隊
 毎ニ刳船ニヨリ小規模ナル漁獲ヲナシアルモ更ニ蛋白質資源ノ逼迫ニ備ヘ
 縣水産業會ヲ指導援助シ漁業組合ノ整理及集荷所ノ設定ヲ行ヒ統制的補
 給ニ着手セリ

刳船ニヨル漁業組合一ヶ月豫想漁獲高總量ハ最低六一、五〇〇斤ト豫定シ
 其ノ七〇%ヲ軍用ニ三〇%ヲ民需ニ配給ス

ロ、追込網漁業ノ爲母船十隻ヲ沿岸各根據地ニ配置シ其ノ漁場ヲ整理配當ス
 追込漁業一組一ヶ月平均漁獲高約五〇〇〇斤ト豫定ス
 集荷地ハ那覇外七ヶ所ニ定メ漁業組合所在地附近ノ部隊ニハ鮮魚ヲ其ノ
 他ハ鹽藏魚ニ加工セシメテ集荷シ補給ノ均衡ヲ期スルモノニシテ之ニ要
 スル鹽及樽類ハ軍ヨリ交付ス

得量左ノ如シ

十一月ニ納入セルモノ	「アヲサ」佃煮	四四〇貫
十二月以降毎月	「ヒジキ」〃	三、〇〇〇貫
	藻宿〃	六、〇〇〇貫

七

三 貝類

一、赤貝養殖ノ爲〇〇島海岸ニ養殖場約四〇〇町歩ノ設定ヲ計畫中ニシテ之ニ内地ヨリ取得セル種子貝五〇〇〇石ヲ本年末ニ播種ノ豫定ナリ
豫想收穫量左ノ如シ

第一年度（昭和二十年秋）	四、五〇〇石（般貝トス）
第二年度	二二、五〇〇石
第三年度以降遞増シ	一〇〇、〇〇〇石以上

四 食鹽

1. 破損釜修理ノ爲給養器具移動修理班ヲ使用ス
2. 軍ヨリ石炭一〇〇噸ヲ交付シ燃料ノ不足ヲ補フ

0602

專賣局ヲ援助指導シ現存ノ三鹽田ヲ強化シ年産額ヲ倍加セシメ二、〇〇〇噸

終り

第三 家畜調達、飼育管理事項

一 調達

肉類ハ縣畜産課ヨリ供出配當ニヨリ屠獸シ精肉トシテ受領交付スル如クシ十一月中旬ニハ離島〇〇島出張所長ヲシテ仔牛一〇〇頭ヲ調辨輸送セシメ各隊ニ交付セリ
各部落ニ於ケル牛、豚、山羊等ハ近來密殺ノ傾向アリテ之ヲ確保スルノ要アルヲ以テ一部軍ニ於テ買上ヲ實施セリ

二 飼育管理

- イ、牛、乳生ヲ飼育管理シ牛乳毎日約一斗ヲ搾取シ野戰病院ニ補給シツツアリ
- ロ、肉用仔牛、離島ヨリ三千頭移入豫定ノ分ヲ民間ニ一八乃至二四ヶ月間依託シ其ノ利益ヲ分配スル方法並ニ仔牛ノ小牧場放牧飼育ヲ考究中

0603